

ストレージダーツスタンド BSD40

取扱説明書

対象年齢：16歳以上

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はダーツ取り付け用スタンドとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BSD40
寸法	幅 65cm × 奥行 41.5cm × 高さ 201cm
材料	フレーム：金属（鋼） バックボード・天板・棚板・底板：合成樹脂化粧繊維板（メラミン）
表面加工	フレーム：エポキシ樹脂粉体塗装
原産国	中国
耐荷重	総耐荷重：70kg（天板、中段：20kg、下段：40kg、可動棚板：各15kg）



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品に電子機器（デバイス等）を収納する際は、熱がこもらないように、機器と収納スペースの間に十分な換気スペースを確保してください。熱がこもると、機器の故障や火災の原因となるおそれがあり大変危険です。
- 不要になった梱包袋を頭からかぶったりしないでください。窒息など重大な事故につながるおそれがあります。
- 火気や暖房器具の近くに設置しないでください。やけどや火災が発生する原因となります。
- 本製品は、市販の転倒防止金具（L字金具、耐震ベルトなど）をご用意いただき、必ず壁面にしっかりと固定してください。※本製品には、転倒防止金具は付属しておりません。
固定を行わない場合、地震や衝撃により製品が転倒し、思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 組み立てる前に各部品に不足や不備がないかご確認ください。不足や不備があった場合はただちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。

- 組み立て時は周囲に何もない平らで広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- ボルトの取り付け前に、ボルト穴の異物をきれいに取り除いてください。
- ボルトは最初からきつく締めないでください。まず全てのボルトを仮締めし、しっかりと組み合わさったことを確認してから、最後にしっかりとボルトを固定してください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠ 使用上のご注意

- 本製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重を超える荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置・使用してください。不安定な場所で使用すると転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上に立ち上がったたり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 天板や棚板の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、サビ・カビの原因となるおそれがあります。
- 本製品に物を載せる場合は、天板・棚板からはみ出さないようにしてください。転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 天板や棚板に物を載せたまま移動させないでください。破損または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 製品は壁際に設置してください。また地震等で転倒しないよう、必ず壁面に固定する等の対策を行ってください。
- 配線をパンチングボード内に収納する際は、配線を強く挟み込んだり、無理な負荷がかかるように収納したりしないでください。配線が断線したり、製品が破損したりするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、ケーブル等はすべて外してから移動させてください。電子機器の落下や破損、ケーブル等が断線するおそれがあります。
- 本製品は、積載荷重が上部（天板、中段）に偏ると転倒しやすくなります。ご使用の際は、棚の上段よりも下段への積載荷重が大きくなるようご注意ください。
- 本製品の一箇所に過度な荷重は加えないでください。破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- パンチングボードにS字フックなどを使用して物を吊り下げの際は、S字フックや吊り下げた物が落下しないよう、確実に固定してください。固定が不十分な場合、フックや吊り下げ物が落下し、破損やけがをするおそれがあります。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等をご使用ください。
- 本製品に寄りかかったり、物を立てかけたりしないでください。製品が転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 移動をする際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、カビ・サビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所。
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所。
 - 高温多湿な場所。
- 本製品の使用中に発生したミスダーツや跳ね返り等により、本製品、周囲の壁面、モニター、テレビ、および収納されている物品などに破損や損害が生じた場合、当社はその損害について一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・製品を設置してから、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

● アレルギー症状が疑われる場合

何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

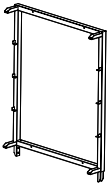
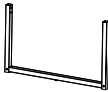
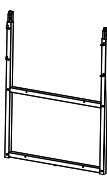
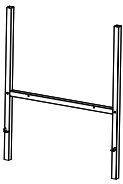








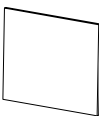
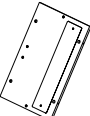

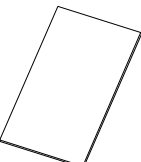
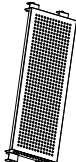

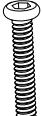






■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- 各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

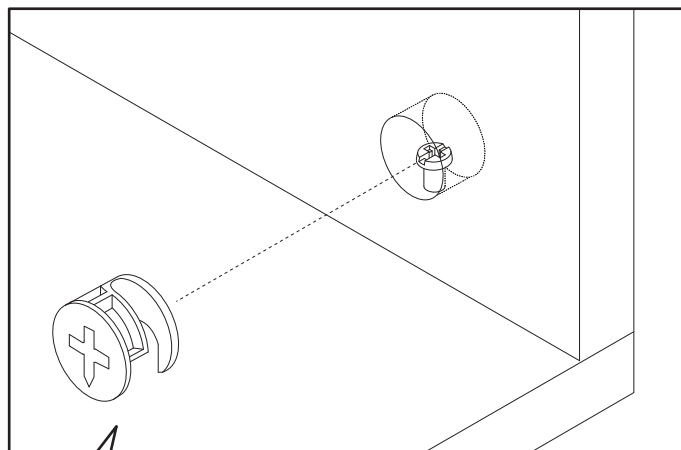
【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビ、カビの原因となります。

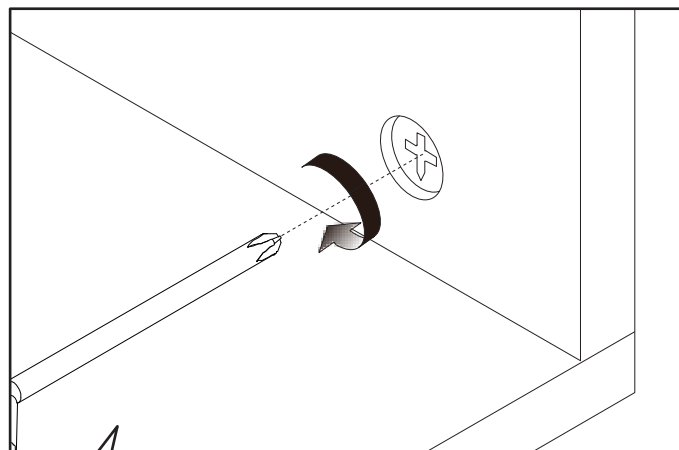
部品・付属品

①	前面フレーム (上)	②	前面フレーム (下)	③	背面フレーム (下)	④	背面フレーム (上)	⑤	上部フレーム (右)
									
×1		×1		×1		×1		×1	
⑥	上部フレーム (左)	⑦	底部フレーム	⑧	固定棚板用 フレーム (右)	⑨	固定棚板用 フレーム (左)	⑩	プッシュラッチ
									
×1		×2		×2		×2		×1	
⑪	フック	⑫	扉	⑬	バックボード	⑭	天板	⑮	固定棚板
									
×2		×2		×1		×1		×2	
⑯	可動棚板	⑰	パンチングボード	A	ボルトA	B	ボルトB	C	カムロックナット
									
×2		×1		×32		×8		×12	
D	カムロックボルト	E	ノブボルト	F	ワッシャー	G	アジャスター	H	六角レンチ
									
×12		×4		×4		×6		×1	

●カムロックの取り付け方法



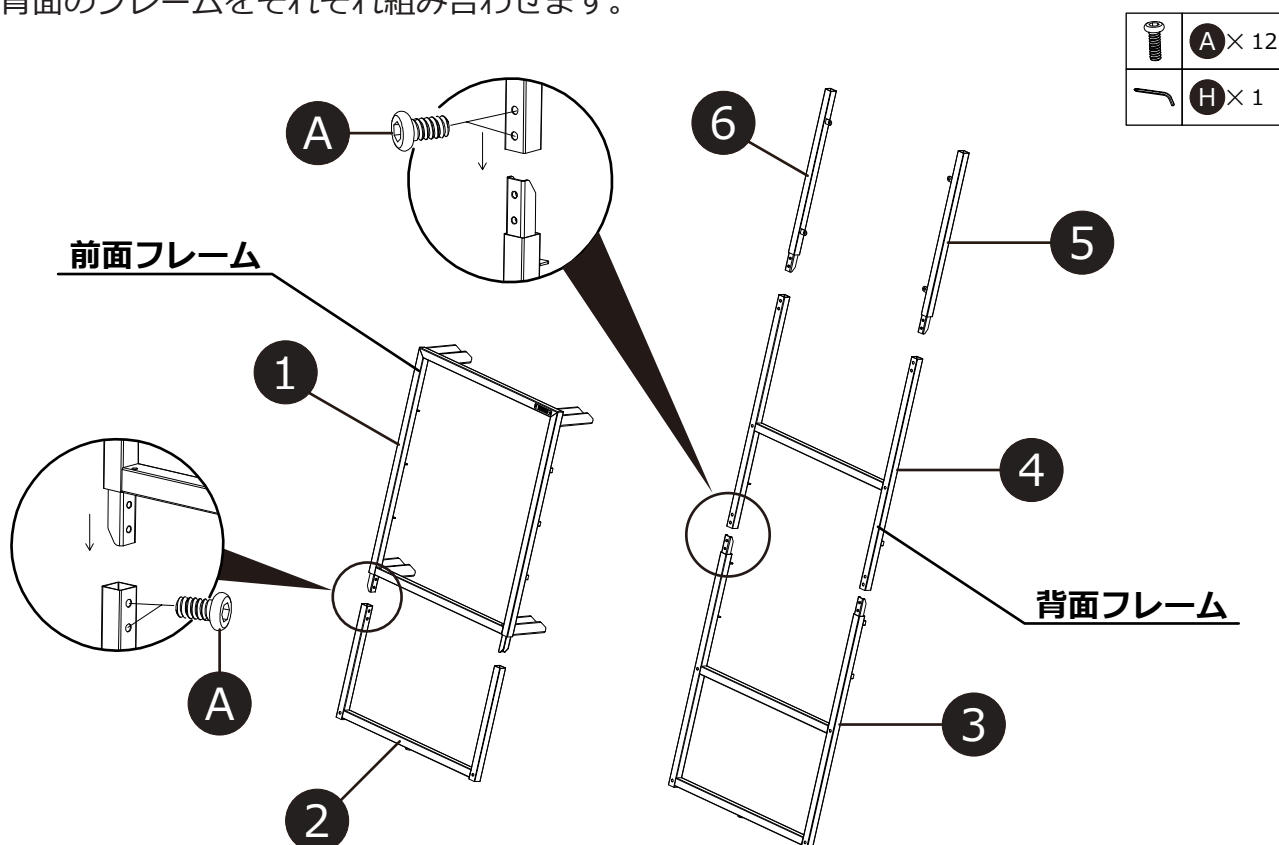
ボルトの方向に矢印をあわせます。





プラスドライバーを用いて、時計回りに180°回して固定します。

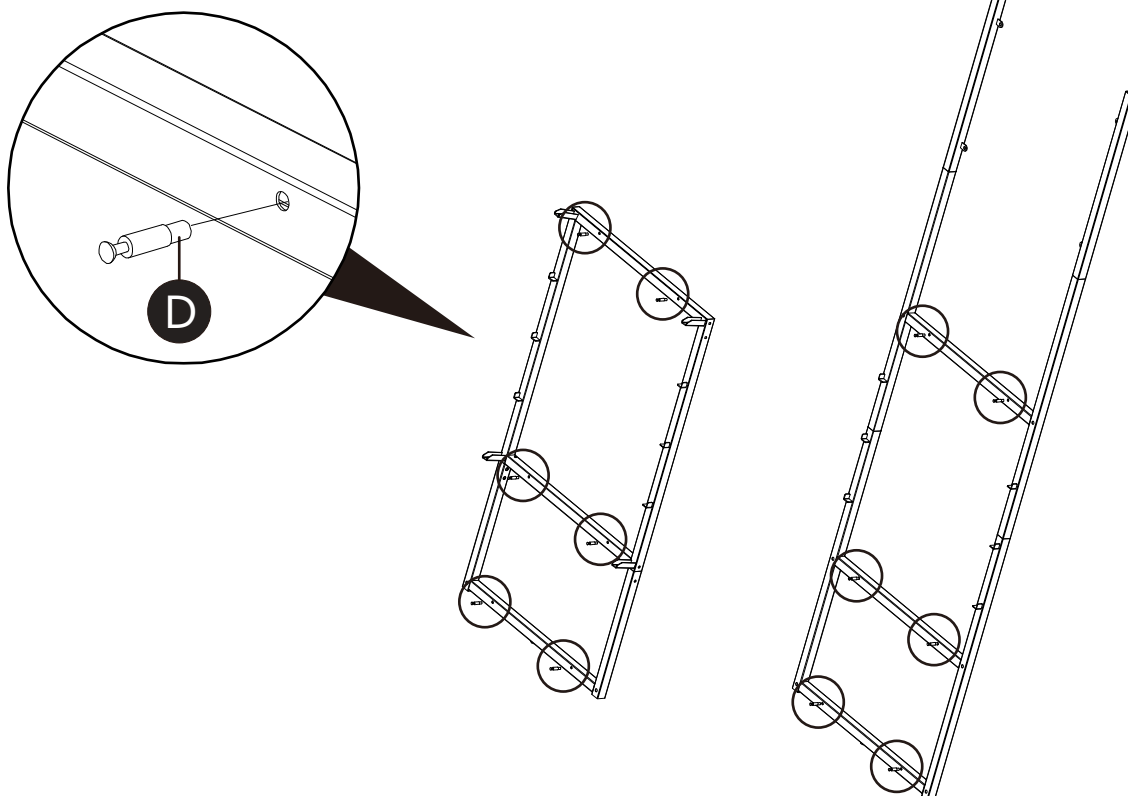
■ 組み立て手順

- 1 前面と背面のフレームをそれぞれ組み合わせます。







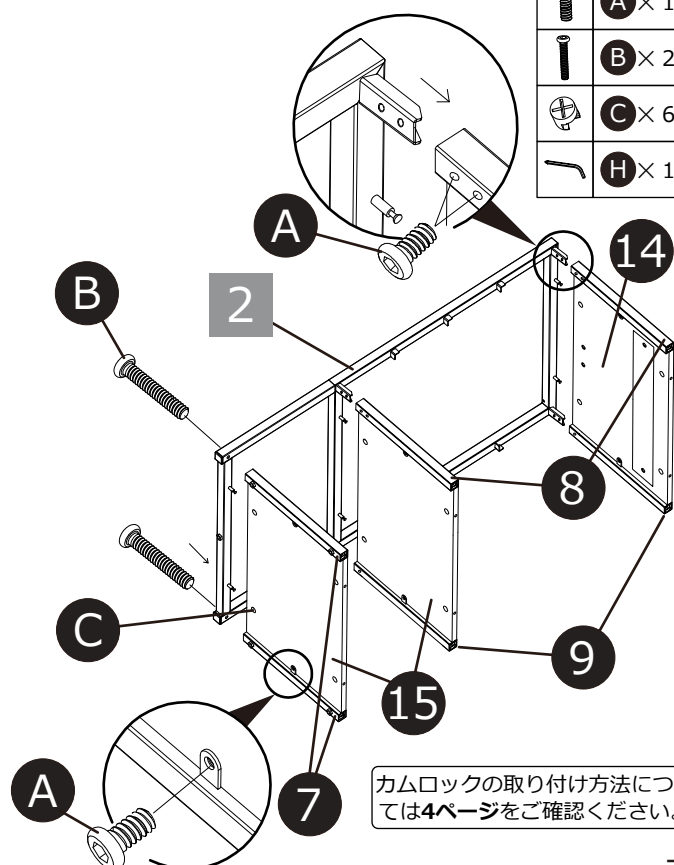
2 1で組み立てたフレームに、⑩カムロックボルトを取り付けます。

	D×12
	H×1







3 ⑭天板と⑮固定棚板に⑦底部フレーム、⑧/⑨固定棚板用フレーム（右/左）を下図の通りに取り付け、2で組み立てた前面フレームに取り付けます。

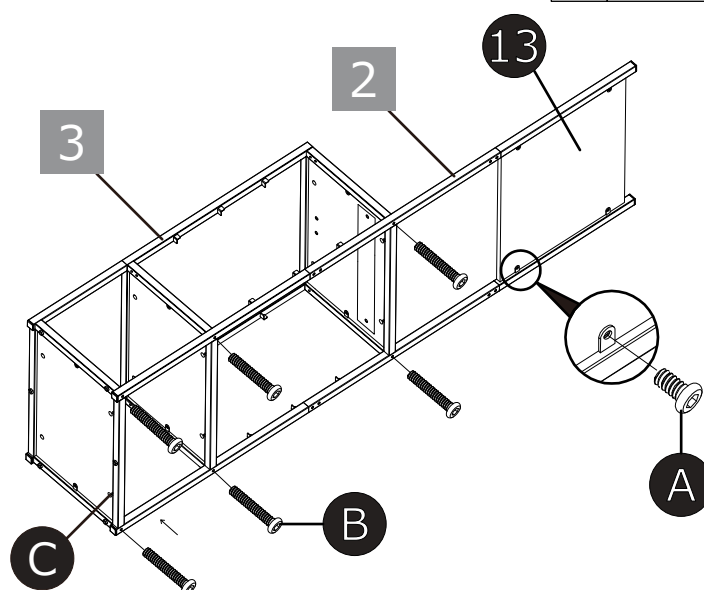
	A×14
	B×2
	C×6
	H×1



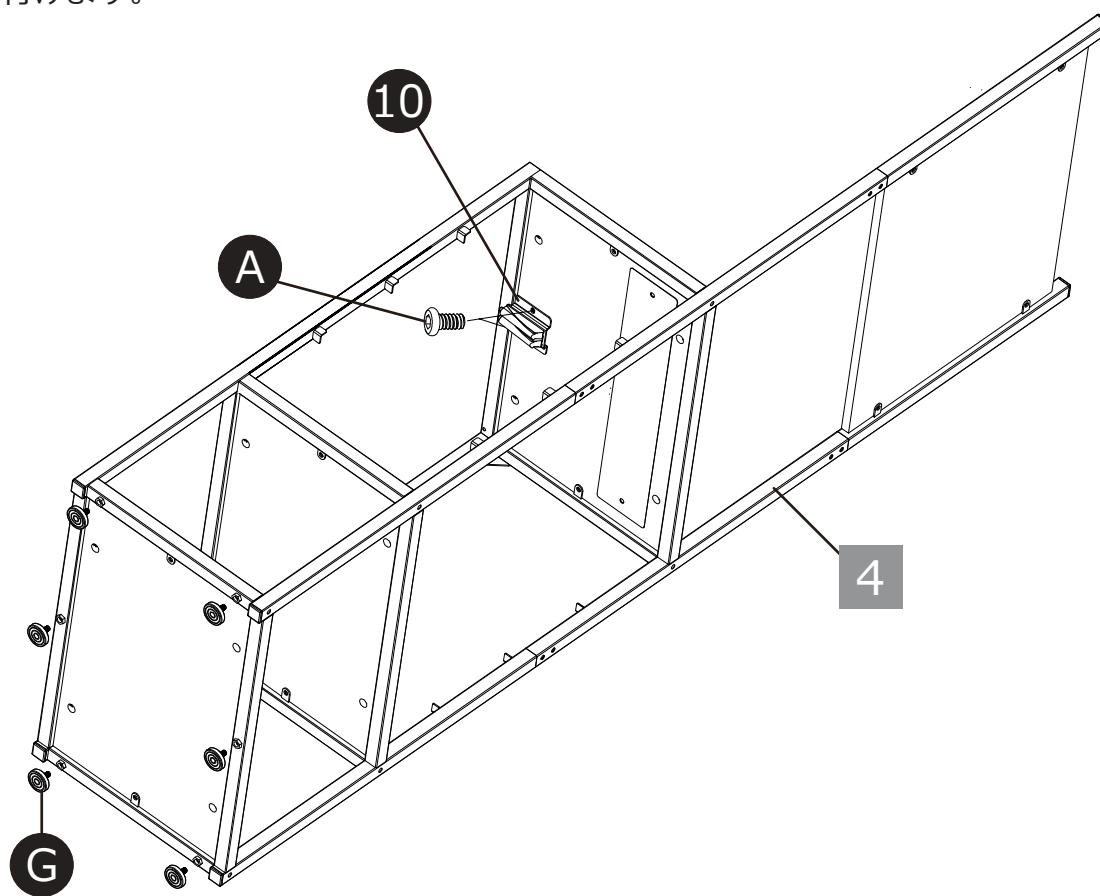
カムロックの取り付け方法については4ページをご確認ください。




4 3で組み立てた本体に、2で組み立てた背面フレームと⑬バックボードを取り付けます。

	A×4
	B×6
	C×6
	H×1

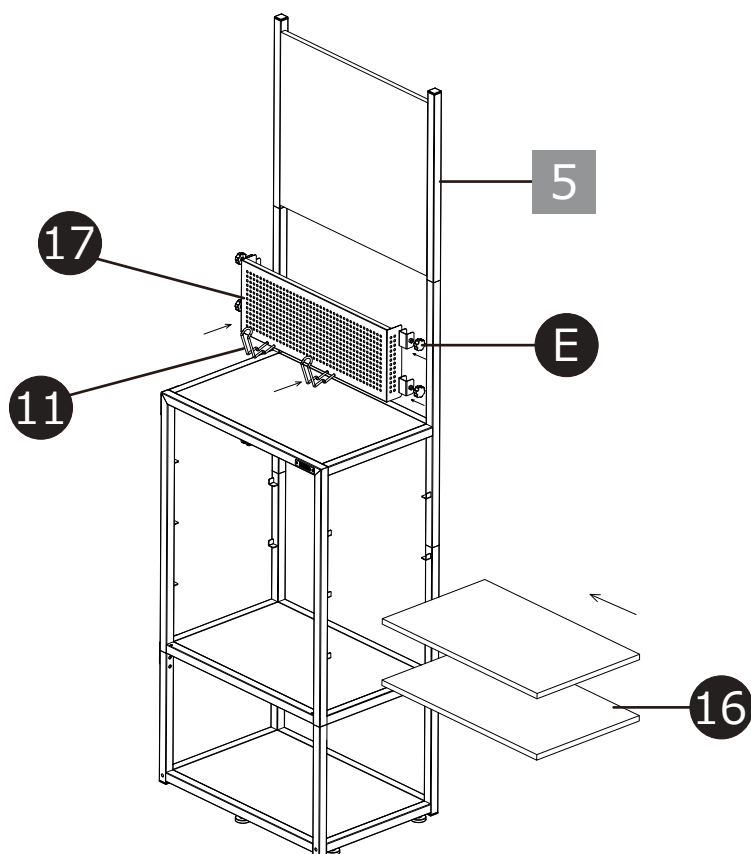


- 5 4で組み立てた本体の天板裏に、⑩プッシュラッチを、底面裏に㊄アジャスターを取り付けます。



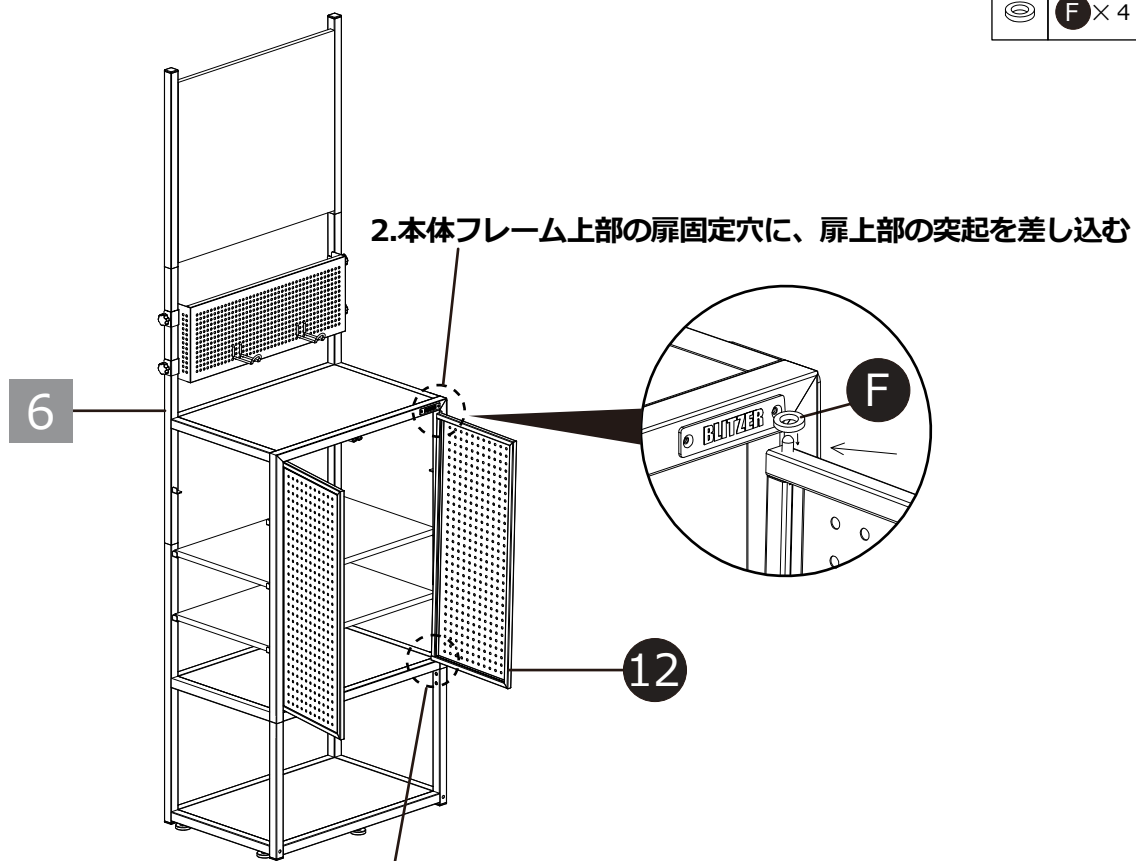
	A × 2
	G × 6
	H × 1

- 6 5で組み立てた本体に、⑬可動棚板と⑭パンチングボード、⑪フックを取り付けます。このとき、可動棚板およびフックはお好みの位置に取り付けてください。



	E × 4
---	-------

7 6で組み立てた本体に⑥ワッシャーを取り付けた⑫扉を取り付けます。



1.本体下部の扉固定穴に、扉下部の突起を差し込む

8 完成です。

- ダーツボードは落下防止のため、ネジ止めに加えて、十分な強度のある針金などで吊り下げることをおすすめします。
- ダーツボードの落下に関しては保証いたしかねます。

ダーツボードを木ネジで固定して取り付ける際は、木ネジを取り付ける位置に錐（きり）や電動ドリル、木ネジを用いて、あらかじめ下穴を開けてください。下穴を開けない場合、作業に時間を要するほか、ドライバーやネジがなめる可能性があります。

